

環境目的・目標と活動結果

2007年度は設定したすべての環境目標を達成することができました。

2008年度ではこれまでの目標の継続・拡大に加え、「オフィス」「環境配慮」および「技術開発」で新規目標を設定し、活動していきます。

2007年度全社環境目的・目標に対する活動結果と2008年度の全社環境目的・目標

環境目的	業務分類	2007年度			2008年度	
		目標	活動結果	評価	目標	備考
地球温暖化防止	施工	CO ₂ 排出を施工高当たりの原単位で1990年度比10.2%削減	モデル現場43件で調査を実施 CO ₂ 排出削減率14.9%	○	CO ₂ 排出を施工高当たりの原単位で1990年度比10.8%削減	拡大
	オフィス	—	—		公共交通機関の利用の促進 保管書類の削減（削減量15%以上） 電力使用量の削減（前年度比5%以上）	新規
建設副産物の再資源化率向上	施工	建設副産物のリサイクル率の向上 アスコン塊:98%以上 コンクリート塊:96%以上 建設発生木材:65% 建設汚泥:75% 廃棄物全体:91% 有効利用率の向上 建設発生土:90%	建設副産物のリサイクル率の向上 アスコン塊:100% コンクリート塊:100% 建設発生木材:94% 建設汚泥:79% 廃棄物全体:92% 有効利用率の向上 建設発生土:93%	○	建設副産物のリサイクル率の向上 アスコン塊:98%以上 コンクリート塊:96%以上 建設発生木材:65% 建設汚泥:75% 廃棄物全体:91% 有効利用率の向上 建設発生土:90%	継続
建設工事の混合廃棄物削減	施工	混合廃棄物排出量の軽減 工事施工高1億円当たり 土木工事:1.3t以下 建築工事:5.1t以下 建築新築工事延べ床面積当たり: 13.5kg/m ² 以下	混合廃棄物排出量の軽減 工事施工高1億円当たり 土木工事:1.1t 建築工事:4.6t 建築新築工事延べ床面積当たり: 6.3kg/m ²	○	混合廃棄物排出量の軽減 工事施工高1億円当たり 土木工事:1.3t以下 建築工事:5.1t以下 建築新築工事延べ床面積当たり: 13.5kg/m ² 以下	継続
水質汚濁の防止	施工	油流出事故防止(すべての水域) 排水(油を含む)による 水質汚濁の防止(すべての水域)	油流出事故0件 汚濁事故0件	○	油流出事故防止(すべての水域) 排水(油を含む)による 水質汚濁の防止(すべての水域)	継続
自主的環境活動の促進	環境配慮	環境を切り口とした、CSR(企業の社会的責任)活動の推進	活動を推進	○	社員の環境配慮活動の向上	拡大
		—	—		環境配慮設計への参画機会の増加	新規
		—	—		エネルギーの使用の合理化に関する法律への対応	新規
環境負荷軽減および環境創造に寄与する業務の促進	技術開発	—	—		「CASBEE」(建築物総合環境性能評価システム)への対応	新規
		資源の有効利用・リサイクルおよび環境改善に関する技術開発・研究の促進	開発・研究を促進	○	資源の有効利用・リサイクルおよび環境改善に関する技術開発・研究の促進	継続
		—	—		海面処分場の遮水性能の向上	新規
	設備計画	—	—		リニューアル、防災事業の部門目標を推進し環境負荷を低減	新規
		—	—		有害物質の処理処分による環境負荷の低減と水域環境の保全創造のための事業を推進	新規
	設備計画	当社保有作業船、設備の環境負荷低減対策の推進	対策を実施	○	当社保有作業船、設備の環境負荷低減対策の推進	継続

評価 ○: 達成 △: 一部未達成 ×: 未達成